

P - P C I e 4 - L V  
( PCI Express版 )  
テストプログラム操作説明書

2001.11/2 第一版

2011.11/16 第二版

目 次

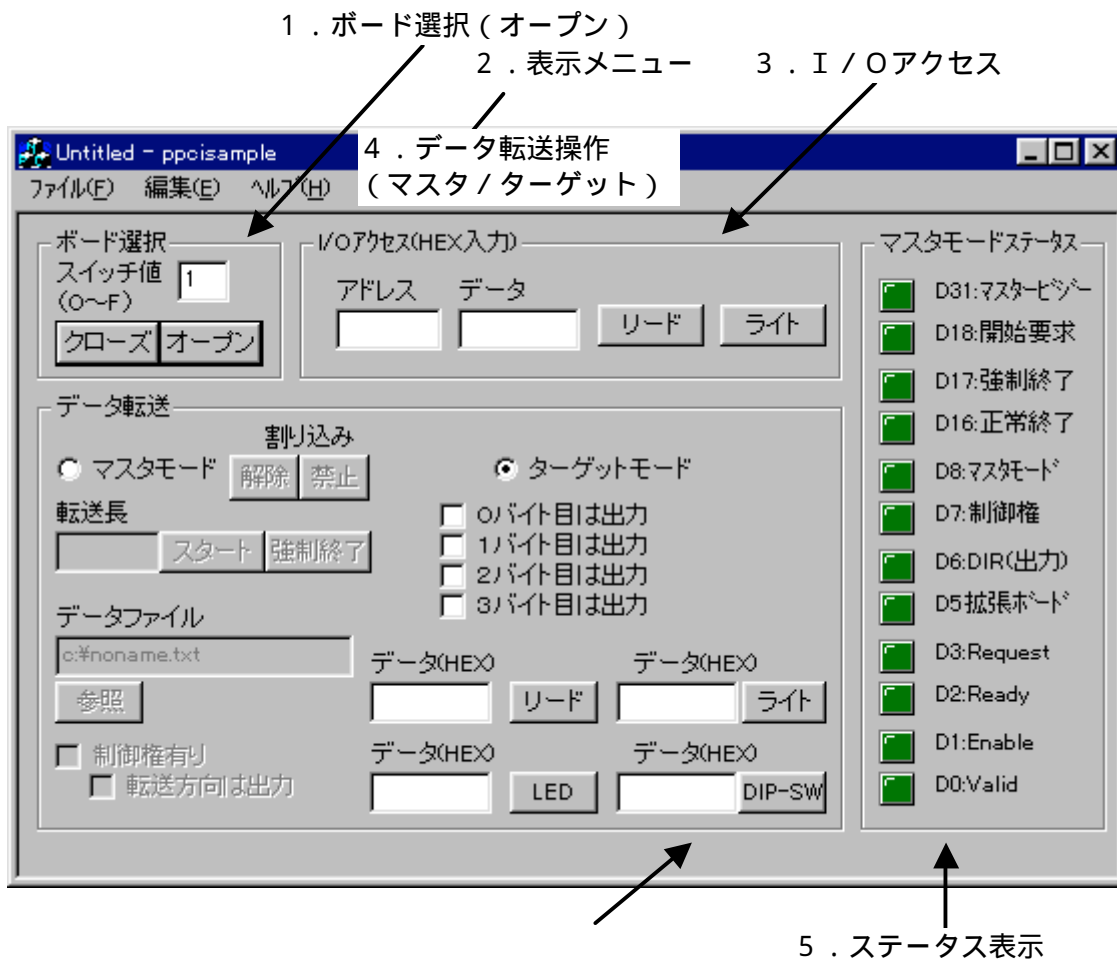
1 . 概要.....	2
2 . テストプロ実行ウインド.....	2
2 - 1 . 全体ウインド.....	2
2 - 2 . 個別説明.....	3

## 1. 概要

本説明書は、P-PCIe4-LV ボードを動作チェックするテストプログラムについて説明する。

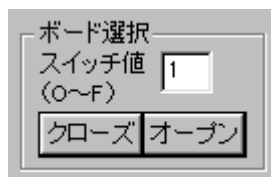
## 2. テストプロ実行ウインド

### 2 - 1. 全体ウインド



## 2 - 2 . 個別説明

### ( 1 ) ボード選択

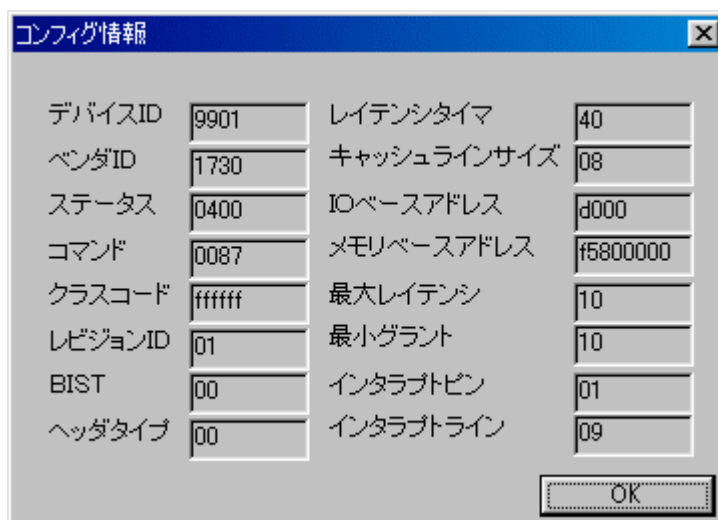


ボードのオープンを行う。(使用できるようにする。)  
 ボードの識別としてディップスイッチの下位4ビットを使用する。

- ・スイッチ値：0～Fを入力する。(使用するボードのスイッチ値)
- ・オープンボタン：使用できるようにする。
- ・クローズボタン：使用を放棄する。

(注)本アプリケーションプログラムは、1ウインドウに1ボードとなっており、もう1枚にアクセスしたい場合は、一度クローズして、別ボードのスイッチ値でオープンしなければならない。  
 同時に実行させたい場合は、その枚数分本アプリケーションを実行し、それぞれのウインドウで、別々のスイッチ値でオープンしなければならない。  
 また、ボード上のディップスイッチの値は、電源立ち上げ時を有効とする。よって、識別としてのスイッチ値を変更した場合電源再立ち上げが必要です。

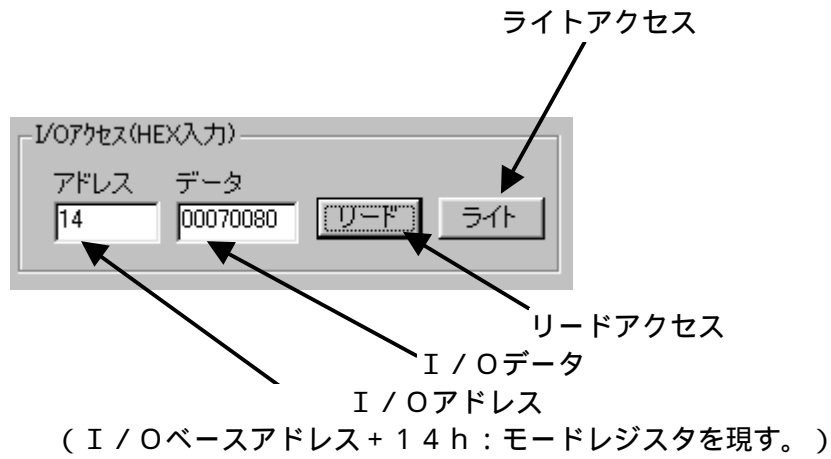
- ( 2 ) 表示メニュー -  
 [メニュー表示][コンフィグレジスタ]で以下のウインドが、開き現在のボードのP C Iコンフィグレジスタが表示される。



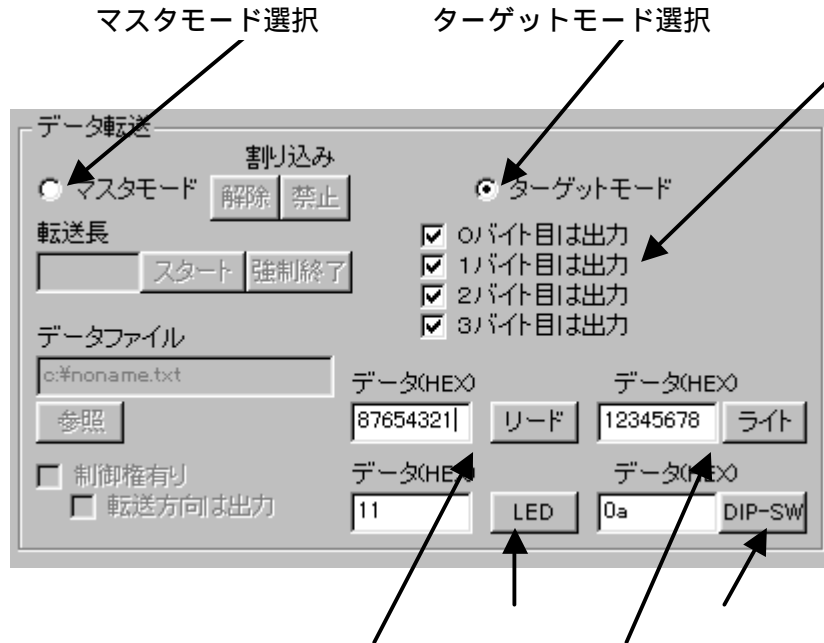
(注)コンフィグレジスタの内容については、P C I関連の資料を参照してください。

## (3) I/Oアクセス

このブロックは、直接I/Oをリード/ライトを行う。  
アドレスは、オフセットアドレスを使用する。

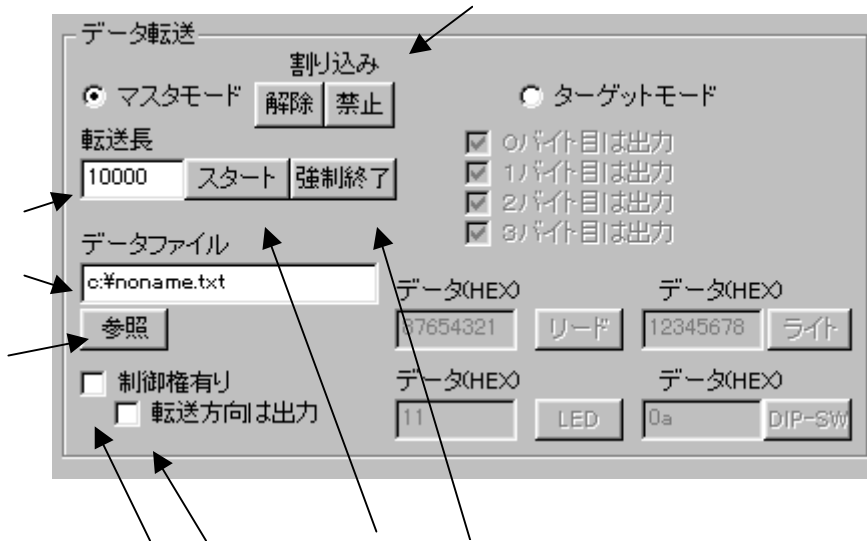


- (4) データ転送  
 マスタモードかターゲットモードを選択し、各データ転送を行う。  
 ( 選択モード以外は、操作を禁止する。 )



- ・ターゲットモード
  - LED出力  
 データ8ビットセットし [ LED ] クリックで、セットされる。  
 " 1 " : 点灯、" 0 " : 消灯
  - ディップスイッチリード  
 [ DIP - SW ] クリックで、データにスイッチ内容が表示される。  
 " 1 " : ON、" 0 " : OFF
  - データの入出力  
 チェックマークが、出力バイトになる。  
 バイト対応は、  
 ビット0 ~ 7 : 0 バイト目  
 " 8 ~ 15 : 1 "  
 " 16 ~ 23 : 2 "  
 " 24 ~ 31 : 3 "
  - ポートリード表示  
 [ リード ] クリックで、リードデータが表示される。  
 出力指定のポートは、ソフトでマスクし " 0 0 " 表示になる。
  - ポートライト  
 データを入力し、 [ ライト ] でポートに出力される。  
 入力指定のバイトのデータは、任意ですが、そのバイトを出力モードに  
 すると、そのときのデータが出力される。

## ・マスタモード



## 制御権の獲得 / 解除

チェックをすると、制御権を獲得します。

しかし、接続機器がすでに制御権を獲得していた場合、メッセージボックスで、獲得できなかったと表示され、チェックはできません。

## 転送方向の設定

チェックをすると出力方向へ、また消すと入力方向になります。

ただし、制御権を獲得していない場合には、メッセージボックスにてできませんと表示され、チェックは、できません。

制御権がない場合外部機器により本ボードの入出力が、自動的にチェック表示される。

## ファイル指定

転送に使用されるファイル名を入力する。

## ファイル選択

のを入力をこれにより、選択指定できる。

[参照] クリックにより、ファイル選択画面が表示され、選択する。

## 転送バイト数

転送バイト数を入力する。

バイト数は、4の倍数で端数は、切り捨てられる。

## スタート

[スタート] クリックで、転送を開始します。

接続機器が、スタートしていない場合、開始待ちとなる。

## 強制終了

[強制終了] クリックで、実行中または開始待ちの状態を解除 (ストップ) させる。

## 割り込み解除、禁止

割り込みを使用する時、解除をクリックする。(割り込みマスクを開ける) 一度クリックするとそれ以降、割り込みを使用する。

使用しない場合、禁止をクリックする。

終了 (正常終了) 時、メッセージボックスにて、割り込みステータスを表示する。

(注) 割り込みマスクは、正常終了のみ解除している。

## (5) マスタモードステータス



マスタモードのステータスでアクティブなビットはその項目の先頭の矩形図形が点灯する。

この監視は、約1秒間隔でチェックしているの  
それ以下の変化には、対応できません。

このステータスの目的は、転送中ハングアップ  
したときに状態をチェックすることにある。

(注) 項目の頭のD??は、このボードの  
ステータス(I/Oベース+18h)の  
該当するビットである。  
しかし、H/W論理とは、異なり機能優先に  
している。

## D 3 1 : マスタビジー

[スタート]すると点灯し、終了で消灯する。

## D 1 8 : 開始要求

割り込みステータスの開始要求である。  
READYまたはREQUESTが、ONになったとき。

## D 1 7 : 強制終了

割り込みステータスの強制終了である。  
相手機器より終了させられた場合。(READYまたはREQUESTがOFF)

## D 1 6 : 正常終了

割り込みステータスの正常終了である。  
転送バイト数で終了。

## D 8 : マスタモード

[マスタモード]をチェックし、マスタモードになると点灯する。

## D 6 : 転送方向

本ボードが、出力モードになっているときに点灯。

## D 3 : Request

制御ラインのREQUESTがアクティブになったとき、点灯する。

## D 2 : Ready

制御ラインのREADYがアクティブになったとき、点灯する。

## D 1 : Enable

制御ラインのENABLEがアクティブになったとき、点灯する。

## D 0 : Valid

制御ラインのVALIDがアクティブになったとき、点灯する。